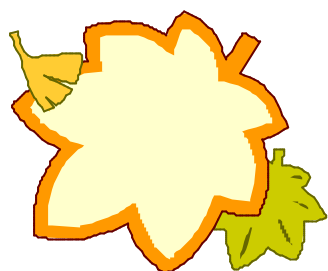


第1学年 生活科学習指導案



平成16年10月20日(水) 1～4校時

建昌小学校 1学年 計 140名

指導者 1年担任 1組 佐藤 貴美子

2組 岡田 智隆

3組 松岡 清美

4組 今井 瑞恵

1 単元名 すいすいさわやか きもちがいいね (小単元 あきをみつけよう)

2 単元について

(1) 単元のねらい

本単元では、木の実や木の葉といった秋らしさを使った活動に、主体的・能動的に取り組ませる中で、「実りの秋を心ゆくまで楽しみたい。」「秋のおくり物で、遊び物や飾り物を作りたい。」といった自分の願いを達成していく楽しさを味わいながら、活動への意欲を高めようとするものである。

さらに、秋の自然や生活の変化を捉えたり、秋の草木の変化やその特徴に気付き、それを生かした遊び方を考えたり、工夫したりしながら、ねばり強く活動しようとする力を高めたりすることもねらっている。

また、幼稚園児や2年生と協力しあって秋の遊びや祭りを楽しみ、助け合ったり心を合わせたりすることで、楽しさが生まれるということを感じ取らせたい。

(2) 単元の目標

ア 公園や校庭などで自然を探る活動を通して、見つけた自然を生かしたいいろいろな活動を友達と一緒にしてみたいという願いをもち、虫探しや木の実・木の葉などの自然物を使った遊び、遊びに使える物を作る活動に進んで取り組み、最後までねばり強く活動し続けることができる。

イ 木の実や木の葉などの秋の自然物の特徴を生かした遊びを考えたり工夫したりすることができるとともに、自然物と身近な物を組み合わせて秋らしさを生かしたものを作ったりすることができる。

ウ 夏までの様子と比べたり、見つけたものをよく見たりしながら、特色ある秋の自然の様子や生活の変化の様子に気付くとともに、秋の自然を満喫する遊びに生かせる物を作るための道具の使い方を身に付けることができる。

(3) 指導計画(全24時間)

時	主な学習活動・子どもの意識	支援の仕方・留意点
1	<p>1 秋さがしに出かけよう!</p> <p>(1) どこで、どんな秋を見つけるか話し合う。 学校周辺・・・色づいた木の葉・木の実 道ばた・・・ススキなどの草花 公園・・・どんぐり・まつぼっくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 春や夏と比べて自然の様子がどのように変化しているかを想起させ、公園などの自然に着目し、秋をもっと見つけたいという意欲を持たせる。

	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="159 215 432 421">1学期に行ったところはどんな感じかな？</td> <td data-bbox="432 215 671 421">見に行ってみたいな。比べてみよう。</td> <td data-bbox="671 215 922 421">たくさんの秋を見つけて、集めたいな。</td> </tr> </table>	1学期に行ったところはどんな感じかな？	見に行ってみたいな。比べてみよう。	たくさんの秋を見つけて、集めたいな。	<ul style="list-style-type: none"> 目で見ただけだけでなく、五感を駆使して捉えるように事前に他の感覚でどんなことが分かるかを話し合わせておく。
1学期に行ったところはどんな感じかな？	見に行ってみたいな。比べてみよう。	たくさんの秋を見つけて、集めたいな。			
	(2) 行くときの注意やきまり，準備する物について話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 春の遠足でのきまりを思い出させる。 			
3	(3) それぞれの場所でいろんな秋を見つけ，集めたり遊んだりする。 どんぐりや落ち葉拾い，草花や虫探し	<ul style="list-style-type: none"> たっぷり活動に浸れるように場所を絞って活動をさせる。また，これをきっかけに他の場所についての秋探しもしたいという意欲をもたせる。 			
1	(4) どんな秋があったか気付いたことを絵や文でまとめる。				
4	2 秋と遊ぼう (1) 自分がやりたい遊びを見つけて活動する。 <table border="1"> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> まつぼっくりやどんぐりで何が作れるかな。 ここを工夫したよ。もっといろんな物を作りたいな。 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> まつぼっくりやどんぐりで何が作れるかな。 ここを工夫したよ。もっといろんな物を作りたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが活動のイメージを持つことができるようにするために，拾って帰ってきたものを見せ合いながら，どんなことができるか考えさせて，思い思いの物を作らせる。 		
<ul style="list-style-type: none"> まつぼっくりやどんぐりで何が作れるかな。 ここを工夫したよ。もっといろんな物を作りたいな。 					
	(2) 幼稚園生と一緒に作りたいものを話し合い，それぞれのグループに分かれる。 どんぐりごま やじろべえ お部屋かざり 首かざり，服，おめん，指輪，プレスレット 動物，工作 葉っぱの絵，しおり，葉脈写し ツリー，リース	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが作った物をもとに，幼稚園生と一緒に何を作りたいか，また教えてやれるかを考えさせ，交流会への意欲を高めさせる。 活動への見通しを持たせることによって，自分の力で活動に必要な自然物を集めることができるようにさせる。 			
5	(3) 幼稚園生との交流学习を行う。 <table border="1"> <tr> <td data-bbox="159 1624 432 1921">どんぐりごまならまかせてよ。</td> <td data-bbox="432 1624 671 1921">いっしょに作ってみようか。</td> <td data-bbox="671 1624 922 1921">じょうずにできたね。</td> </tr> </table>	どんぐりごまならまかせてよ。	いっしょに作ってみようか。	じょうずにできたね。	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園の先生方の連携を図り，子どもたちへの声かけが等が密にできるように打ち合わせをする。 幼稚園生への接し方に戸惑っている子には，教師がアドバイスして声をかけさせる。
どんぐりごまならまかせてよ。	いっしょに作ってみようか。	じょうずにできたね。			
2	(4) 交流学习で思ったことを絵や文に表す。				

<p>3 秋祭りをしよう</p> <p>(1) どんな秋祭りにするか話し合う。</p> <p>(2) 秋祭りのための準備をする。 枯れ葉やどんぐり・まつぼっくりの他に身近な素材を使っておみこしを作る。</p> <p>5 (3) 秋祭りに参加する。</p> <p>(4) 祭りの片づけをする。</p> <p>(5) 秋祭りで楽しかったことを振り返る。</p> <p>2</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;">みんなで作り上げたお祭りは楽しかったな。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">自慢のはっぴができたよ。</td> <td style="width: 33%; padding: 5px;">来年は自分たちが1年生を招待するぞ。</td> </tr> </table>	みんなで作り上げたお祭りは楽しかったな。	自慢のはっぴができたよ。	来年は自分たちが1年生を招待するぞ。	<ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろなところで見つけた秋から、何か楽しい催しはできないか話し合い、秋の収穫を祝うお祭りに関連づけ、お祭りへの活動意欲を持たせるようにする。 ・ 幼稚園生と一緒に活動した秋遊びを発展させて、御神輿の飾り付けができるよう工夫させる。 ・ 自分たちが作った御神輿を2年生の前でパレードして、お祭りの気分を味わわせる。 ・ 2年生の姿や手伝ってくれた友達にも目を向けさせ、協力してできたお祭りだったことに気付かせるとともに、来年度は、自分たちが1年生を招待しようという意欲をもたせる。
みんなで作り上げたお祭りは楽しかったな。	自慢のはっぴができたよ。	来年は自分たちが1年生を招待するぞ。		

3 本時の学習

(1) 目標

- ・ 秋の公園で見つけた木の葉や実、種などの特徴を生かして、自分がやりたい造形遊びに取り組み、それを幼稚園生にも教える中で、年下の子に譲ったり、お世話をしたりする経験を通して、共に秋の造形遊びを楽しむことができる。

(2) 準備

- ・ シート 10枚
- ・ 長机(高・低) 各7台
- ・ 椅子 12脚
- ・ CDカセット
- ・ コーナー看板 7枚
- ・ どんぐりやまつぼっくり等の素材を入れた箱 35箱
- ・ どんぐりの穴あけ台ときり 16セット
- ・ 作品に名前を書く紙(付箋紙) 500枚程度
- ・ 救急箱 2箱
- ・ ごみ箱 7箱

(3) 実際

過程	主な学習活動	時間	留意点
意欲を	<p>1 幼稚園生との顔合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代表児童の挨拶 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽に合わせて入場する幼稚園生を、温かい拍手で迎える。 ・ 1年生が幼稚園生のお世話をするということが代表児童の挨拶の中でも知らせる。

も つ	2 学習のめあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ようちえんせいといっしょに、 あきのあそびものをつくろう。</div>	15分	<ul style="list-style-type: none"> 小学生はグループ毎に事前に決めた内容で制作活動に取り組み、幼稚園生は小学生の様子を見ながら一緒に作る物を決めるので、お互い誘い合ったり、場所を譲り合ったりできるように援助する。
見 通 す	3 作る見通しをもつとともに道具や安全面についての確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> お互いに作りたいものを決める。 材料・用具の確認をする。 はさみや接着剤の使い方を復習する。 作る場所や手順の確認をする。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 幼稚園生・小学生とともに、自然物と身の回りの素材を組み合わせて作る楽しさと技能の高まりを味わわせられるよう、いろいろな材料を準備しておくようにするとともに、安全な道具の使い方については、全体的に指導しておく。
作 る ・ 遊 ぶ	4 集めた素材や身近な材料を使って、自分で工夫して作る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;">どんぐりごま やじろべえ お部屋かざり 首かざり、服、おめん、指輪、 ブレスレット 動物、工作 葉っぱの絵、しおり、葉脈写し ツリー、リース</div>	75分	<ul style="list-style-type: none"> 形のおもしろさや色の美しさなどの素材の特徴を生かした作品や遊びをしている子どもたちを賞賛し、小学生と幼稚園生のお互いの良さが認められるような声かけをする。 小学生には自分の制作に没頭するだけでなく幼稚園生との交わりも図られるよう、お互いの作品のよい点に目を向けさせたりしながら、教師の方からも積極的に声かけする。 出来上がった作品は台の上に飾り、また別のコーナーで制作をしてもよいことを知らせる。その時、小学生が幼稚園生の名前を書いてやるなどの手助けをしながら触れ合いができるように声かけする。
振 り 返 る	5 自分やお友達の作品を鑑賞する。 <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園生と一緒に、遊び物が完成できたか振り返る。 お友達の作品を見て、工夫してあるところをさがす。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> 自分やお友達の作品を見ながら、工夫した作り方をした作品に目を向けさせる。
	6 材料や道具の後片づけをする。	25分	<ul style="list-style-type: none"> 用具・材料の後始末をきちんとさせる。

3 評価

- 幼稚園生と交流しながら、共に秋の造形遊びを楽しむことができたか。